

SPOT GUIDE

スポットガイド

荒神山神社

こうじんやまじんじや

山頂に鎮座する火・かまど(台所)の神様とお叡いの神様が祀られている神社。氏子地域は無く「荒神さん」と呼び親しまれ広く崇敬されています。毎年6月29・30日に水無月祭が行われ、無病息災を祈る茅の輪くぐりや、子供の火難除けを祈念するお神楽が昔から続いています。明治時代までは行基が開いた奥山寺と呼ばれた天台宗のお寺でした。



住所 清崎町1931 ☎0749-43-5545
URL http://www.kojinyama.org

稲村神社

いなむらじんじや

常陸国(現・茨城県)久慈郡稲村神社のご分霊を祀る。周辺の稲里町・金沢町・稲部町・金田町・上岡部町・下岡部町・石寺町・薩摩町の氏神様。春(4月の第3日曜)の例大祭には各町から大太鼓を担いで坂を登る太鼓登山があります。



住所 稲里町2617 ☎0749-43-5513
URL http://www.17.plala.or.jp/inamurajinja/

天満天神社

てんまてんじんじや

学問の神様が祀られています。清崎町・賀田山町の氏神様。4月の大祭には各氏子地域より大太鼓が集まります。



住所 清崎町1501 ☎0749-28-1586

唐崎神社

とうざきじんじや

水の神様が祀られています。日夏町・津屋町・須越町の氏神様。春の例大祭には大太鼓が担がれ石段を登ります。



住所 日夏町4778

千手寺

せんじゆじ

臨済宗のお寺。山号は石頭山。本尊は釈迦如来。天平時代に行基が開いたお寺。境内には文化財になっている古庭園や彦根藩の俳人、森川許六の弟子である治天(やてん)のお墓や歌碑があります。また、滋賀県指定文化財や彦根市指定文化財の仏像も多数あります。



住所 日夏町4528 ☎0749-28-0091

延寿禅寺

えんじゆぜんじ

臨済宗永源寺派の禅寺。山号は永明山。本尊は観世音菩薩。

749年(天平勝宝元年)行基によって創建されたと伝えられ、かつては天台宗のお寺でしたが、織田信長の兵火に遭い、江戸時代に入り復興されて臨済宗に改められました。

彦根市指定文化財 / 木造十一面観音菩薩坐像
木造仏頭



住所 稲里町2523

荒神山神社遷拝殿

こうじんやまじんじや
ようはいでん

山頂まで歩いて登り参拝するのが困難な人々のために山の下からでもお参りできるように建てられた遷拝殿。社殿は市内の天寧寺にあった井伊家の祖霊社を移築したものです。昔の参詣道である本坂の登り口にあり、その前には大きな石鳥居があります。水無月祭の6月29日の夜には遷拝殿の前に多数の露店が並び賑わいます。



住所 清崎町1917

へび岩

へびいわ

へび岩は昔の奥山寺(今の荒神山神社)の成り立ちの御縁起に記されている霊験あらたかな岩です。昔、孝靈天皇の御代、インドの国より仏様が巨大な蛇に乗って琵琶湖の東(荒神山)に到来し大蛇はそのまま岩となり山と共に住む。その岩は山腹を貫き頭は南方に出、尾は北方にひるがえると記されています。今も荒神山や地元の守護神として大切にされています。



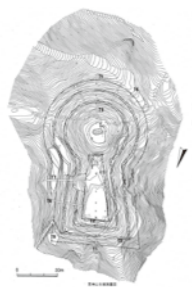
住所 清崎町

荒神山古墳(国指定史跡)

こうじんやまこふん

全長124mの巨大古墳。滋賀県下2番目の規模を誇る古墳時代末期(4世紀末)の前方後円墳。大和政権に深い関わりをもち、琵琶湖の湖上交通に権力を握っていた湖東地域の首長が埋葬されたと考えられています。平成23年、彦根市内では3件目となる国の史跡に指定されました。

また、山中に30基以上の古墳が確認されています。(荒神山古墳群)



☎0749-26-5833(彦根市教育委員会文化財部文化財課)

朝鮮人街道(下街道・巡礼街道)

ちょうせんじんかいどう
(しもかいどう・じゆんれいかいどう)

朝鮮国は、鎖国体制にあった日本が唯一正式な外交関係をもった国でした。朝鮮国からは徳川將軍への使者である朝鮮通信使が500人近い大行列で信を通じるためにこの朝鮮人街道を往来しました。またこの付近の道は戦国時代織田信長が岐阜より佐和山や安土を経て京都に上る道として整備した下街道とも重なります。東山道(のちの中仙道)の「上街道」に対して琵琶湖に近い下を通るため下街道と呼んだのでしよう。またその昔は都人らが彦根山の彦根寺へ詣でる道として「巡礼街道」と呼ばれていました。このように朝鮮人街道は古くは「信仰の道」であり、戦国時代には「天下賦武の道」であり、江戸時代には「善隣友好の道」として、多くの人々が様々な思いで往来した歴史街道と言えます。



住所 稲里町・清崎町・日夏町

山崎山城跡

やまざきやまじょうせき

近江守護の佐々木六角氏配下の在地領主で、永禄11年(1568)から始まった織田信長の近江侵攻に伴い信長に従った山崎氏が、信長の命により築いたと考えられます。この城は、発掘調査により、小規模ながらも石垣を設けた城であったことが分りました。この石垣は、安土城の石垣に類似していることから、築城時期は安土城が築かれた天正年間(1573~1592)の初期頃と推定されます。



☎0749-26-5833(彦根市教育委員会文化財部文化財課)

大橋利左衛門 顕彰碑

おおはしりざえもん
けんしょうひ

明治の初め、木の伐採が盛んになり、はげ山となってしまった荒神山に苗木を植え、山の緑を蘇らせた日夏出身の若き政治家「大橋利左衛門」を称えるため建立されました。



住所 日夏町

彦根梨園

ひこねなしえん

石寺町の曾根沼干拓地で栽培されている彦根の名産「彦根梨」。県内最大規模の梨園があり、8月下旬頃~10月初旬頃まで、幸水や豊水の品種が収穫されます。すぐ近くの湖周道路沿いにあるJA美浜館などで販売され、甘くて美味しいと評判の彦根梨は朝の内に売切れるほどの人気です。



住所 石寺町

彦根テレビ中継局

山頂にあるNHK・びわ湖放送・毎日放送・朝日放送・関西テレビ・読売テレビの中継局(電波塔)。県北部の約18万世帯に地上デジタル電波を届けています。また、FMこねの電波もここから送信されています。

三角点(三等)
▲261.5m

三角点とは三角測量に用いる際に経度・緯度・標高の基準になる点のことで、国土地理院の測量標の一つです。三角点には、一等~五等三角点まであり基準となる柱石が設置されており、永久標識に分類されます。

モデルコース

Model Course

市制75周年記念事業

荒神山歴史めぐりウォーキングコース(約6.7km)

平成23年9月開設 詳しくは彦根市教育委員会発行の専用マップをご覧ください。



荒神山の歴史を学びながら自然を満喫できるコースです。(健脚向)

注意

- ◎山道では雨の後は道が滑り易くなっていたりぬかるんでいたりますので、特に下山時には足元に十分注意してください。
- ◎大雨時やその直後は土砂災害の危険、荒天時は思わぬ自然災害に遭うことがありますので登山は控えてください。
- ◎危険な動物(スズメバチやマムシ)と出くわした場合は逆らわず怒らせないように、そっと離れましょう。
- ◎荒神山は低山ですが、山に変わりはありません。自然の中を通る道には自然ゆえの様々な危険もあります。その点を十分に承知した上で山歩きを楽しんでください。
- ◎荒神山周辺の駐車場では車上荒らしが多発しています。貴重品は置かないようにしましょう。

ルール

- ◎ごみは必ず持ち帰る。(山を美しく)
- ◎食べ残しを放置しない。動物にエサを与えない。(鳥獣害の原因、人に危害を加える原因になります。)
- ◎火を使わない。(山火事防止にご協力ください。)
- ◎道を外れない。(転落やケガのもとです。また危険な動物が潜んでいることがあります。)
- ◎日没までには下山する。(暗くなると見えにくくなり危険です。またイノシシが出歩きます。)
- ◎土地の所有者に迷惑をかけない。(荒神山には周辺各町・市・個人・社寺境内地など様々な所有者の土地があります。勝手な利用や伐採・採掘・不法投棄は禁止です。)
- ◎車道以外では自転車を乗り入れない。(歩行者に危機感を与えないため、山道を傷めないために、マウンテンバイク等の車両の乗り入れはやめましょう。)

アドバイス

- ◎カギなどの落し物・忘れ物が多発しています。管理を十分に。
- ◎水分補給のため水筒やペットボトルに入れた飲み物を予め持参しましょう。
- ◎山中に公衆トイレはありません。登山前にトイレを済ましておきましょう。
- ◎山道では春~秋にかけクモの巣が張っていることがありますので、除去するために木の枝のような棒があれば便利です。